

## 平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社 三東工業社 上場取引所 東  
 コード番号 1788 URL http://santo.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥田 克実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 矢森 貞行 TEL 077-553-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第1四半期の業績（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,118	13.7	71	294.0	71	249.1	63	274.3
26年6月期第1四半期	983	△2.7	18	—	20	—	17	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	9.29	—
26年6月期第1四半期	2.48	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	3,918	2,394	61.1
26年6月期	3,727	2,375	63.7

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 2,394百万円 26年6月期 2,375百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年6月期	—				
27年6月期（予想）		0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,500	0.0	70	△33.2	70	△34.6	60	△37.0	8.75
通期	5,200	△12.2	100	—	95	—	80	—	11.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料2ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年6月期1Q	6,860,000株	26年6月期	6,860,000株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	4,220株	26年6月期	4,220株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年6月期1Q	6,855,780株	26年6月期1Q	6,856,783株

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、このところ一部に弱さもみられますが、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかな回復基調が続いております。

一方、建設業界につきましては、当初予算で公共事業予算が前年度比2.3%増計上されるとともに、公共工事設計労務単価の二度に亘る引上げ、低入札価格調査基準価格の一般管理費の係数引上げ等の措置を講じられたところで建設業界にも漸く明るい兆しが見え始めております。

このような経済状況下、当社は現場力の強化、経費削減及びリスク管理の強化を重点的に取り組み、競争力を高める努力をして参りました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,118百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益71百万円（前年同四半期比294.0%増）、経常利益71百万円（前年同四半期比249.1%増）、四半期純利益63百万円（前年同四半期比274.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①土木部門

土木部門の受注工事高は、576百万円（前年同四半期比28.7%減）となり、完成工事高763百万円（前年同四半期比16.6%増）、セグメント利益67百万円（前年同四半期比124.5%増）となりました。

## ②建築部門

建築部門の受注工事高は、151百万円（前年同四半期比82.2%減）となり、完成工事高347百万円（前年同四半期比6.9%増）、セグメント損失0百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

## ③不動産部門

不動産部門の売上高は7百万円（前年同四半期比98.7%増）、セグメント利益4百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,924百万円となり、前事業年度末に比べ235百万円増加いたしました。これは主に現金預金が457百万円増加したことによるものであります。固定資産は993百万円となり、前事業年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは投資有価証券が時価の下落に伴い26百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,918百万円となり、前事業年度末に比べ190百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,457百万円となり、前事業年度末に比べ182百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は67百万円となり、前事業年度末と比べ10百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,524百万円となり、前事業年度末に比べ172百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,394百万円となり、前事業年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は61.1%（前事業年度末は63.7%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、当初の予定通りに推移していることから、平成26年8月8日に公表しました、第2四半期累計期間および通期の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当第1四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。

当社は、当第1四半期累計期間において営業利益、経常利益及び四半期純利益を計上しておりますが、前2事業年度において営業損失、経常損失及び当期純損失を計上しており、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社は、これらの重要事象等を解消するため、引き続き業務プロセスの抜本的な見直しを行い、受注時において将来の環境を見越した精緻な積算や積極的な提案を行うことなどにより、利益率の高い案件の受注獲得に傾注してまいります。また、工事施工時における原価低減の徹底も図ってまいります。なお資金面において「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 財政状態に関する説明」に記載のとおり、今後の経営に支障のない資金を有しているため、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないものと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,265,202	1,722,800
受取手形・完成工事未収入金等	1,143,839	938,514
有価証券	21,532	21,534
販売用不動産	206,897	206,897
その他	68,337	48,144
貸倒引当金	△16,700	△13,000
流動資産合計	2,689,108	2,924,892
固定資産		
有形固定資産		
土地	383,998	383,998
その他（純額）	380,378	364,695
有形固定資産合計	764,377	748,694
無形固定資産		
その他	31,861	31,031
無形固定資産合計	31,861	31,031
投資その他の資産		
投資有価証券	210,161	183,316
その他	79,584	78,144
貸倒引当金	△47,590	△47,590
投資その他の資産合計	242,156	213,871
固定資産合計	1,038,395	993,596
資産合計	3,727,503	3,918,488
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	761,508	668,259
短期借入金	—	200,000
未払法人税等	8,850	8,335
未成工事受入金	364,871	464,670
完成工事補償引当金	33,700	33,700
工事損失引当金	527	210
その他	105,153	81,870
流動負債合計	1,274,610	1,457,046
固定負債		
繰延税金負債	33,981	24,457
その他	43,554	42,692
固定負債合計	77,536	67,150
負債合計	1,352,146	1,524,197

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	849,500	849,500
資本剰余金	625,900	625,900
利益剰余金	837,302	873,556
自己株式	△502	△502
株主資本合計	2,312,199	2,348,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,158	45,837
評価・換算差額等合計	63,158	45,837
純資産合計	2,375,357	2,394,291
負債純資産合計	3,727,503	3,918,488

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成26年7月1日 至平成26年9月30日）
売上高		
完成工事高	980,096	1,110,997
不動産事業等売上高	3,872	7,695
売上高合計	983,968	1,118,692
売上原価		
完成工事原価	901,030	988,681
不動産事業等売上原価	8,105	2,875
売上原価合計	909,136	991,556
売上総利益		
完成工事総利益	79,065	122,315
不動産事業等総利益又は不動産事業等総損失 （△）	△4,233	4,819
売上総利益合計	74,832	127,135
販売費及び一般管理費	56,786	56,036
営業利益	18,046	71,099
営業外収益		
受取利息	644	110
受取配当金	332	421
雑収入	2,854	156
営業外収益合計	3,831	688
営業外費用		
支払利息	827	424
支払保証料	686	266
営業外費用合計	1,513	691
経常利益	20,363	71,096
税引前四半期純利益	20,363	71,096
法人税等	3,349	7,419
四半期純利益	17,014	63,677



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。